

名古屋市観光・MICE戦略2028（案）に対する
市民意見の内容及び市の考え方

令和6年12月

名古屋市

名古屋市観光・MICE戦略 2028(案)パブリックコメント実施結果

「名古屋市観光・MICE 戦略 2028（案）」に対し、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。いただきましたご意見の概要と、それに対する市の考え方を公表します。
 なお、ご意見の内容は、一部要約または分割して掲載していますのでご了承ください。

1 実施期間

令和 6 年 10 月 21 日（月）から 11 月 22 日（金）まで

2 意見提出状況

区分	郵送	FAX	電子メール	持参	合計
人数	1 名	0 名	10 名	2 名	13 名
件数	5 件	0 件	63 件	25 件	93 件

3 意見の内訳

項目	意見数
1 策定の趣旨等について	5 件
2 5つの戦略眼・施策等について	75 件
全般	3 件
I－1－A：中部圏の玄関口としての機能充実	8 件
I－1－B：広域視点による観光・MICE効果の最大化（都市間連携）	6 件
I－2－C：観光・MICEの受入環境の充実	12 件
I－2－D：来訪者の回遊性の向上	12 件
I－3－E：観光・MICE施策の推進体制の構築	1 件
II－1－F：“名古屋ならではの”のコンテンツ造成	4 件
II－2－G：特色・特徴を生かしたエリアの魅力向上	12 件
II－3－H：地域一体となった観光の推進	3 件
III－1－I：歴史に由来する文化、産業等の情報発信	4 件
III－2－J：ターゲットの期待値を高める観光プロモーション	2 件
III－3－K：名古屋へのインバウンド誘客	2 件
IV－1－L：名古屋MICEブランドの構築・発信・定着	2 件
IV－2－M：地元産業・学術との連携強化	1 件
IV－3－N：国際展示場・国際会議場を拠点としたエリアMICEの構築	1 件
V－2－P：名古屋ならではのMICE誘致・開催支援の充実	1 件
V－3－Q：新たな社会的価値観に対応したMICE開催	1 件
3 成果指標について	2 件
4 推進体制について	1 件
5 その他	10 件
合 計	93 件

市民意見の内容と市の考え方

1 策定の趣旨等について（5件）

市内在住通勤者によるPR等について	
【市民意見の概要】	○名古屋在住通勤の人が、出張で他都市にPRするとともに、見識を広めてほしい。名古屋市は面会の価値を示し、交流人口の増加を垂範すべき。
【市の考え方】	市内外に向けて、名古屋の魅力をPRし来訪につなげることは、非常に重要なことと認識しております。観光客・ビジネス客ともに、本市への来訪者を増加させ、交流人口の拡大につなげるよう、努めてまいります。
わかりやすい記載について	
【市民意見の概要】	○MICEの意味や定義、名古屋のMICEの現状分析、観光・MICEを進めていくに至った検討状況や経緯を簡単にまとめたもの、具体的に何を狙っていくのかを記載したうえで、観光・MICE施策を記載していく方がわかりやすいと思う
【市の考え方】	「1 策定の趣旨」「2 前戦略における取り組み」「3 観光・MICEを取り巻く現状」「コラム：MICE開催の効果って？」に掲載しております。
MICEの開催実態の把握について	
【市民意見の概要】	○市や県内の施設におけるM・I・C・E毎の年間実績はどのくらいなのか。 ○名古屋のホテルでも会議を開催されていると思うが、実態としてどのくらい開催されているのか記載した方がよいのではないか。
【市の考え方】	JNTO国際会議統計資料等、公表されているデータがある一方、分野によっては公開されているデータがなく、MICEの開催実態を全て把握することは困難と考えております。そのような中でも、今後の施策立案のためにも、市内のMICE開催実態を把握することの重要性を認識していることから、企業や施設及び主催者等に連携・働きかけを行うことで、開催実態の把握に努めてまいります。
記載データについて	
【市民意見の概要】	○国際会議の開催実績に関する図表について、名古屋市内の全ての施設が記載されていないため、データの掲載基準を明確にした方がよいのではないか。掲載するデータについては出展元を合わせ、数字に合理性があるのか検討したうえで、記載した方がよいのでは。
【市の考え方】	国内各会場別の開催状況については、国内の大学等・コンベンション施設において、開催件数が多い順に表にしたものであり、大学において都市の開催件数を増加させる小さな規模の会議が開催され、キャパシティが大きい施設において経済波及効果の高い大

規模なものが開催される傾向を示すデータとして掲載しております。

2 5つの戦略眼・施策等について（3件＋各施策について72件）

コラム等の記載について
【市民意見の概要】 ○39 ページのコラム文中にある「アイデンティティ」とは、どのような意味で使っているか。 ○記載されているストーリーは、江戸時代と現代までのつながりがわかりにくく、もう少し丁寧に説明してほしい。東海地方については、自動車産業・航空産業の集積地というイメージがあり、この核があってこそ、学会や研修といった MICE の数が増えるのではないかと思う。
【市の考え方】 コラム文中では「特徴、個性、誇り」といった意味合いで使っているものですが、不明瞭であるため、いただいたご意見を踏まえて、表現を修正いたしました。 ストーリーにつきましては、いただいたご意見を踏まえて、一部内容を修正いたしました。
MICEそれぞれへの対応策について
【市民意見の概要】 ○M・I・C・E 毎に記載されていないため、それぞれへの対応策が見えづらい。
【市の考え方】 MICE においては、各分野（M・I・C・E）に特性があり、それを踏まえた効果的な取り組みを展開する必要があると考えていることから。本戦略内「6 主な取り組み」に各分野（M・I・C・E）における取り組みを表として掲載しております。

I-1-A：中部圏の玄関口としての機能充実（8件）

高級ホテルの立地促進について
【市民意見の概要】 ○外国人旅行客は、民泊・ビジネスホテル等を利用し、短期もしくは連日宿泊しているため、高級ホテルについては必要ないのではないか。 ○高級ホテルの誘致は良い事だが、それを生かす土壌が名古屋にあるのか疑問である。富裕層や企業に協力を仰ぐなど、ホテルに愛想を尽かされないようにしてほしい。
【市の考え方】 ハイレベルな国際会議などの MICE の推進や、海外の富裕層旅行者の誘致による観光消費額の増大に繋げるうえで、高級ホテルは都市間競争に打ち勝つために必要なインフラの一つと認識しております。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただき、魅力ある都市となるよう、取り組んでまいります。

観光案内機能の充実について 【市民意見の概要】 ○市内には英語の看板が少なく、日本語の看板も古くて読めないものがあるので、外国語にも対応した観光看板を整備してほしい。 【市の考え方】 本市では、民間事業者と連携し、英語にも対応した新たな観光案内板の整備を進めており、整備に応じて、適宜老朽化した案内板を撤去しています。 今後も引き続き、観光案内板の整備を進めてまいります。 中部国際空港の整備促進・エアポートセールスについて 【市民意見の概要】 ○セントレアの整備促進に取り組み、市内外の観光・鉄道路線・観光案内に関して東海三県及び各県の市町村で連携すべきだと思う。 ○中部空港から 1 回の乗り換えで全世界に行けるような利便性が欲しい。アフリカ・ヨーロッパ・中東全域に繋がるターキッシュエアラインズの新規乗り入れや、北米のスーパーハブ空港と繋がれば、北米南米各地に 1 回の乗り換えでアクセスが可能となる。また、アジア各国に繋がるシンガポールのチャンギ空港とのアクセスとして、シンガポール航空を大事にして欲しい。 【市の考え方】 本市は、中部国際空港の整備促進に向けた調査への支援等を実施しております。また、周辺地域と連携した取り組みは重要なことと考えておりますので、いただいたご意見を参考に引き続き努めてまいります。 エアポートセールスについては、引き続き本市のみならず、就航地の市民への PR など、地元経済団体、中部国際空港株式会社と連携して実施していきたいと考えております。 中部国際空港等へのアクセス性向上について 【市民意見の概要】 ○県営名古屋空港で未就航路線、小型・近距離航路を就航させる事ができれば、都心に近い空港としてさらなる利用価値が上がるため、空港線地下を通る地下鉄新線を整備し、金山までの延伸したうえ、セントレアへの乗り継ぎ可能とするほか、県営名古屋空港－金山間ノンストップ高速運転もふまえた新線の計画をすると良いと思う。 ○中部国際空港までのアクセスについて、他都市のように公的資金を投入し、路線を拡大し、アクセス性を向上させることで、増便が可能になるのではないかな。 【市の考え方】 いただいたご意見につきましては、他部局や関係事業者と情報共有を図り、今後の参考とさせていただきます。 名古屋駅構内での物販・飲食について 【市民意見の概要】 ○他都市には、在来線及び新幹線改札内に物販・飲食店があるのに、名古屋駅にないのは、都市の玄関口としては適当でない。

【市の考え方】

いただいたご意見につきましては、他部局や関係事業者と情報共有を図り、今後の参考とさせていただきます。

I－1－B：広域視点による観光・MICE効果の最大化（都市間連携）（6件）

周辺地域および関連都市との広域連携について

【市民意見の概要】

- 名古屋周辺地域で開催されるF1やラリーなどの季節イベントでは、名古屋に宿泊するケースが多いと思われるため、そうした大型イベントや施設を活用するのが良いと思う。
- 江戸時代以前においては、市町村による行政統治は存在しなかったもので、名古屋市単体ではなく広域で観光紹介に取り組むのが良いと思う。
- 尾張出身で、名古屋城やその他の歴史的建造物等に関わった武将が治めた他都市をPRすべきだと思う。その他都市の戦略的重要性や、その武将が適任だった理由を説明することで、愛着の醸成に繋がり、他都市と名古屋・愛知の相互訪問に繋がると思う。
- 外国人観光客の受け止めは、三重・岐阜・愛知・静岡の東海全体で受け止める必要があり、東海全体での広域観光を進め、本市を中心とした圏域全体の持続的な発展に寄与していくことが重要だと思う。
- 最近のインバウンド傾向の一つに、東京を玄関口にして、次に静岡を観光し、次に名古屋を拠点として高山方面へというルートがあり、東海道観光ルートは非常に大事で、意識しないといけない要素だと思う。
- 名古屋市が、広域観光として旅行会社や交通事業者との旅行商品造成を断っているのではないか。

【市の考え方】

本戦略では、名古屋の交通アクセスの良さを生かして、広域交流を推進することを目指しています。ご指摘いただいたような、近隣でイベントが開催される好機を逃さず、名古屋での宿泊増を目指してまいります。

また、歴史的な関係性等に基づく連携も重要であり、本市では旧尾張藩にゆかりのある自治体と連携した「尾張藩連携事業」を実施しているほか、尾張出身の武将であり、熊本城を築城し、また名古屋城の築城に貢献した加藤清正の関係性から、本市は毎年度、熊本市との間で相互PRを実施しています。

東海地方には、富士山や高山、白川郷など、外国人観光客に人気のスポットが多くあり、また、いわゆるゴールデンルートとして、名古屋とともに広域の観光周遊ルートとして知られていることから、静岡を含めた周辺地域との広域観光の推進に取り組み、観光・MICE消費の拡大をめざします。

広域での観光案内や誘導は非常に重要なことと認識しております。いただいたご意見を参考に、引き続き努めてまいります。

I-2-C：観光・MICEの受入環境の充実（12件）

歴史的建造物のバリアフリー化対応について
【市民意見の概要】 ○「施設 I-2-C：観光・MICE の受入環境の充実」も、障害者や、外国人も気軽に観光に来やすくなるので良いと思うが、名古屋城のエレベーター問題のように、歴史的建造物の文化財的価値を維持するために、バリアフリー化ができない場所も多くあると思う。そういった場所については、どのような対策をとるのかを教えてほしい。
【市の考え方】 歴史的建造物とバリアフリーとの両立につきましては様々な課題があると認識しておりますが、その建造物の歴史的な価値に配慮しつつ、引き続き可能な範囲の中でバリアフリー化に努めてまいります。やむを得ず整備が困難な場合には、個別の状況にあわせた合理的配慮を講じます。
ホール・アリーナの不足について
【市民意見の概要】 ○名古屋飛ばしの原因の一つは、会場となるホール・アリーナの不足であり、5,000人～15,000人規模の施設が足りないのではないか。
【市の考え方】 ご指摘いただきました規模の施設は、本市内において不足し、地域全体の課題であると認識しております。そのような中でも、本市といたしましては、令和4年度に名古屋市国際展示場第1展示館（15,000人規模）が開館し、また金山駅周辺にある市民会館においては、改築を予定しており、第1ホール（2,200席程度）第2ホール（1,500席程度）、第3ホール（900席程度、スタンディング時1,800人程度）の3つのホールからなる新たな劇場として整備することを検討しています。
トイレの機能向上について
【市民意見の概要】 ○男性用の小便器を、完全に横と間仕切りされたグローバル基準なものにして欲しい。これは宗教上の理由もあり、アジア大会も見据えて、しっかりと取り入れてほしい。
【市の考え方】 本市は、トイレの洋式化等、誰もが安心して快適にストレスなく旅行を楽しむことができるよう、受入環境の充実に努めてまいりました。 いただいたご意見につきましては、他部局や関係事業者と情報共有を図り、今後の参考とさせていただきます。
公共交通機関の活用について
【市民意見の概要】 ○市の交通に関する計画で、国内外の観光客利用を考えておらず、市民以外の利用が想定されていない。 ○市の公共交通機関が福祉利用を優先し、交通事業について市民税を投入し、交

通事業を債務超過にしようとしているのではないか。
【市の考え方】 市の交通に関する計画に基づき、外国人、来訪者等を含めた、公共交通の利用者がわかりやすく、安全・安心に移動できるよう、乗り換えに関する情報提供等を行うとともに、公共交通をより便利に利用することができる取組みを周知し利用促進に繋げていきます。 また、公共交通機関を利用してお出かけをする楽しさや魅力を感じていただけるよう、より効果的な利用促進策を展開していきます。
市営地下鉄駅の整備について
【市民意見の概要】 ○全駅 15cm の段差・カーブしている駅では、20cm～30cm の隙間があるため、改善すべきだ。 ○市営地下鉄におけるエレベーターの設置については、乗客の安心・安全、他交通機関との乗り継ぎを考慮し、適切な場所に設置してほしい。
【市の考え方】 車いすやベビーカーをご利用の方をはじめ、誰もが乗降しやすくなるよう、名城線・名港線の駅では、ホーム先端部のかさ上げ（スロープ化）や、くし状ゴムの設置などを行い、ホームと車両の段差・隙間の改善を図っています。 エレベーターの整備については、地上へのエレベーターが 1 つ整備されている駅のうち、高齢者や障害者の方をはじめ多くのお客さまが向かう方面にエレベーターがない駅の中から整備を進め、バリアフリールートの充実などを図っていきます。
市営地下鉄車両の整備について
【市民意見の概要】 ○名古屋市として、住宅照明の LED 化を進める一方で、市営地下鉄車両については LED 化が進んでおらず、行政の施策として一貫性がない。観光客が増えないのは当然ではないか。 ○市営地下鉄の車両は、他都市のように、デザイン性に対する賞を受賞していないため、車体・車内についても清掃がされておらず、汚れてしまっている。 ○市営地下鉄について、全車両にバリアフリースペースが必要なのにしていないなど、法令に基づくバリアフリー対応が徹底されていないのではないか。 ○市営地下鉄について、法令上に基づく車両内の引き戸が設置されておらず、必要な防火対策が講じられていないのではないか。また、車両内の防犯カメラが設置されていないのではないか。 ○名古屋市は行きたくない都市と言われているが、運賃を安くして、収入が少ないため、車両火災事故を引き起こしても対策をせず、車両清掃・消毒もしていないため、観光客は来ない。
【市の考え方】 環境負荷の低減については、関係する部局などと連携を図りながら取り組んでいきます。

地下鉄車両の洗車及び地下鉄車内の清掃については、定期的の実施しています。 市営地下鉄車両におけるバリアフリー化については、誰もが安心して快適にご利用いただけるよう、お客さまからのご意見などを踏まえ、他部局や関係事業者などと情報共有し、整備を進めています。 市営地下鉄を安全に、安心してご利用いただけるよう、車両における防火対策・防犯カメラの設置など、災害対策やセキュリティ強化に取り組んでまいります。

I-2-D：来訪者の回遊性の向上（12件）

なごや観光ルートバス「メーグル」の運行について
【市民意見の概要】 ○メーグルは、市外からの観光客に特化した運行となっていないため、現在の車両での運行を取りやめ、スカイホップバスで運行すべきである。現在の専用1日乗車券500円は安すぎであり、赤字債務超過となっているため、定期券・一日乗車券・敬老パス・福祉乗車券での乗車を禁止し、利用料金は4000円とすべきだ。 ○バス車両を観光文化交流局で保有して、赤字の交通局ではなく、民間バス会社に運行をさせるべきだ。
【市の考え方】 メーグルは、効率的に市内の観光施設を周遊できるよう運行しているものです。市外からの観光客だけでなく、市民の皆様にも市内周遊時の公共交通機関として、ご活用いただきたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
新たな路面交通システム（SRT）の導入推進について
【市民意見の概要】 ○SRT（LRT）を金山から荒子（高畑）までつなげることで、荒子（高畑）～名古屋～栄～金山が繋がり、観光やビジネスの動きが活性化出来るのではないかと。 ○新たな路面交通システムSRTの導入検討には、碁盤目の街並み内にもっと賑わいが必要であり、魚の棚通・袋町通・長島町通・呉服町通を三蔵通りの様に対面通行の道路としてテナントが効く立地を創出し、賑わいのある街並みをすべきである。
【市の考え方】 SRTについては、都心部における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、まちづくりと一体となった取り組みとして、導入検討を進めています。令和7年度に名古屋駅－納屋橋－広小路本町－栄を結ぶ東西ルートで、令和8年度のアジア・アジアパラ競技大会時には周回ルートの一部で運行し、効果検証を行ったうえで最適な都心部周回ルートの形成をめざしていきます。
DXの活用について
【市民意見の概要】 ○観光客だけでなく市民も利用できる観光アプリの作成や名古屋コンシェルジュをアプリ化し、満足度を取得する機能やローカルなイベントの情報も搭載され

るとよい。アプリを起動したまま周遊すると、割引ポイントが貯まる等の還元があれば、動態データも取れてよいと思う。
【市の考え方】 名古屋観光コンシェルジュで観光スポットやイベント情報を掲載しているほか、デジタルツールとして「名古屋観光デジタルマップ」事業を実施しています。 観光案内に役立つツールは有効な施策と認識しているところです。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
学術研究機関との連携について
【市民意見の概要】 ○名古屋大学が中心となって実施している地域公共交通コーディネーター等の活動と提携するなど多角的に検討してはどうか。
【市の考え方】 本市では、持続可能な公共交通ネットワークを確保するため、交通事業者や関係行政機関、学識経験者等から構成される地域公共交通協議会を設置して、同協議会での議論を経て地域公共交通計画を策定し、その施策に取り組んでおります。
自転車の利用環境について
【市民意見の概要】 ○自転車移動できるルートや名古屋市周辺へのサイクリングロードを整備する等、名古屋周辺のサイクリスト向けの観光資源（香嵐渓・養老）とも連携の上で、サイクリングの観光資源を開発してほしい。
【市の考え方】 本市では、令和５年３月に「名古屋市自転車通行空間ネットワーク計画」を策定し、自転車交通量や自転車交通事故の多い路線等を観点に着目し、自転車通行空間の整備を推進しています。 なお、市内には河川敷緑地や公園内にサイクリングコースが既に約４０kmありますのでこれらの施設をご活用ください。
アクセス性・周遊性の向上について
【市民意見の概要】 ○名古屋市内は各駅停車の地下鉄ばかりで、時間の割に移動範囲が狭いのが課題である。混雑する東山線に並行して、名古屋長久手線の地下に急行運転を実施できる新線を整備するほか、リニモを延伸して本山駅までつなぐのも良いと思う。 ○観光にはアクセスの容易さが求められることから、地下鉄新線を整備することによって、来訪客は限られた時間の中で、安心して時間を有効活用することができると思うので、インフラ整備を推進してほしい。 ○名鉄瀬戸線・小牧線などを、鶴舞線のように相互直通運転として、金山駅まで延伸すれば、小牧を経由しての犬山城や、尾張藩祖徳川義直の墓所がある瀬戸へもアクセスが容易となるうえ、瀬戸物が北区・東区において絵付けされ、世界へ輸出された歴史的背景を観光資源化できるとともに、市内のノリタケの森への来訪にも繋がると思う。また、輸送手段のアトラクション化として、お堀列車を

走らせ、景雲橋で堀川の船便へ乗り換え可能ならば、歴史を学ぶ機会としても、都心の移動手段としても機能する観光資源となると思う。 ○広報物に掲載されている市営地下鉄の路線図には、空港や JR・在来線とのアクセスの記載がないものもあるため、観光客が来ない原因となっているのではないか。
【市の考え方】 観光・MICE の推進において、アクセス性の向上、本市内や本市周辺に点在する観光資源をつなぐ上でも非常に重要なことと認識しております。 しかし、地下鉄事業は、エネルギー価格の高騰などにより非常に厳しい経営状況となっており、路線の新設等に関しましては、営業路線の運営に支障をきたすことの無いよう、社会・経済情勢、需要及び採算性について、慎重に見極める必要があると考えています。 一方で、本市及び本市周辺都市にまつわる歴史的なストーリー性を生かして、観光周遊を促進することに関しましては、非常に重要なことと認識しております。 いただいたご意見を参考に、本市の観光資源を生かした観光周遊施策につきまして、引き続き努めてまいります。 情報については、市民・利用者のみなさまの声などを踏まえつつ、わかりやすい情報提供に取り組むとともに、多くの方々に興味・関心を持っていただけるような情報発信に努めてまいります。
水上交通の推進について
【市民意見の概要】 ○お堀の船便は、七里の渡し跡をメインとして、堀川ルート、中川運河ルート、セントレアルート、桑名七里の渡しルートの航路を整備すれば、セントレアやクルーズ船からのインバウンド需要を満たし、Aichi Sky Expo・名古屋国際会議場等で開催される展示・国際会議以外の観光地として、熱田やレゴランドでの観光消費を拡大できると思う。
【市の考え方】 本市では、堀川や中川運河においてクルーズ船を定期的に運行しています。堀川沿川などの歴史資産や、ささしまライブ24地区、ガーデンふ頭、金城ふ頭などの拠点をめぐる水上交通網の実現を図るため、中川運河、堀川と名古屋港などを連絡する水上交通の運航を推進してまいります。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

I－3－E：観光・MICE 施策の推進体制の構築（1 件）

他分野との横断的な連携について
【市民意見の概要】 ○市が実施する「スポーツ」「交通」「子育て」「ウォーカブル」等の他のプロジェクトと連携し、成果の共有や、観光増進の観点からの提案を行ってはどうか。
【市の考え方】 本戦略においては、観光に関連する関連施策にも記載させていただいており、

様々な分野と連携していくことの重要性については当方としても認識しておりますことから、成果を共有していくとともに連携についてもより一層の連携強化を図ってまいります。

Ⅱ－１－Ｆ：“名古屋ならではの”のコンテンツ造成（４件）

武将観光の推進について

【市民意見の概要】

○名古屋市は安土桃山や江戸時代の人物となじみ深い街なので、それをもっと前面に出して観光地としての名古屋の要素を強くすると良いと思う。海外へ「Japanese SAMURAI 文化」をアピールし、インバウンド誘客を進めることで、名古屋市の経済活動が潤うと思う。

【市の考え方】

本市は、三英傑に代表される戦国武将ゆかりの地であることから、「武将」をテーマとした武将観光を推進しております。いただいたご意見のように、インバウンドにも訴求できるよう、引き続き推進に努めてまいります。

他都市事例の参考について

【市民意見の概要】

○名古屋は、国内の他都市と比べて特色が無いと、特色が無くても誘客に成功した他都市の事例を参考にすれば、戦略の方向性も見えるのではないかと。

【市の考え方】

名古屋は、なごやめし等の食文化や個性あふれる歴史・文化、日本有数のレジャー施設等を有しています。こうした名古屋の魅力を観光客等にしっかりと発信して、誘客に繋げてまいります。

名古屋城の整備について

【市民意見の概要】

○名古屋城の木造化は、金閣寺の様に見学禁止にして、年に数回の抽選か、ふるさと納税の返礼として定員を決めて見学できる様にすれば良い。

【市の考え方】

名古屋城天守の木造復元は、特別史跡の本質的価値の向上と理解促進を目的としており、豊富な史資料に基づき、できる限り史実に忠実に復元するとともに、近世期最高水準の技術により築城された天守の特徴や価値を広く知っていただけるよう、バリアフリー等の環境整備を図ることとしています。誰もが木造ならではの歴史的空間を実体験いただけるよう、引き続き復元に取り組んでいきます。

名古屋城水堀の活用について

【市民意見の概要】

○松江城の堀川遊船のような面白いまちづくりをしてほしい。

【市の考え方】

本市では、名古屋城の歴史的価値をわかりやすく伝えるため、水堀において舟を運航する予定であり、広大な水堀や石垣、隅櫓、天守といった歴史的景観を水堀から臨むなど、名古屋城の新たな一面を体感いただくことをめざします。

Ⅱ－２－Ｇ：特色・特徴を生かしたエリアの魅力向上（１２件）

名古屋城・三の丸エリアの魅力向上について

【市民意見の概要】

- 名古屋城と三の丸、熱田神宮とその周辺は、道路で人流が分断されている。立体化や対面２車線により、街のつながりを重視すべきであり、名古屋城と三の丸につながりが出来れば、老朽化した庁舎を移設させ、生み出された敷地に、史実を基にした武家屋敷や一部町人街を再現して歴史テーマパーク化し、武将隊のようなキャストが歴史上の出来事を再現するのも良いと思う。
- 名古屋城の周りにもっと、店や屋台などを出せるようになると良いと思う。東京・大阪に比べて、名古屋は観光地として弱いので、歴史的な面と現代的な面を表に出して、東京・大阪の良いところ取りの様な感じにするといいのではないかな。
- 名古屋城天守閣の再建が始まる際には、名城公園のオランダ広場に盛り土をして、城が再建されていく様子を鑑賞できるようにしてはどうか。
- 北区には、からくり人形師や漫画家、作家、自動車デザイナーなどの著名人が住んでいるので、名城公園を“モノづくり原点の名古屋”、文化・芸術・産業をテーマとした公園として整備してはどうか。
- 名城公園を、放送局や朝市マルシェ、芸術ゾーン、甘味茶屋を用意して、演奏家や絵描き、紙芝居などがいる、あらゆるジャンルの魅力が溢れる総合公園にしてはどうか。
- 名古屋城や、完成を控える名古屋キャッスルホテルや愛知県新体育館（IGアリーナ）と同じエリアにある名城公園の改革は重要であるが、「名古屋駅→外堀通り（円頓寺含む）→四間道→ホテル→体育館→名古屋城→柳原商店街→県庁」、「市役所→ミライタワー→大須」、「名古屋城→黒川桜並木→大曽根→ドーム→東山方面」といった導線が必要であるため、散歩路以外に導線をつなぐものとして小型路面バスを周回させるとともに、尾張四観音巡りや、名古屋三大天神巡りなどのルートを作ると良い。
- お堀の周辺、史実にない鬱蒼とした植栽は伐採抜根し、名古屋城が可視化出来るようにして欲しい。外堀通は渋滞が酷く、沿線の公園やテニスコートは不要。名古屋城が目視できる様、伐採と車道の拡幅、遊歩道の整備を望む。

【市の考え方】

名城公園と名古屋城を擁する名城エリアを一体的にとらえ、更なる魅力を創出することにより一層の観光誘客を図るとともに、三の丸地区とも連携をしてまいりたいと考えております。

三の丸地区については、名古屋城と名古屋駅、久屋大通公園の中間に位置する好立地にあることから、歴史性や豊かな緑、公共空間など、地区の特性などを活かしたまちづくりを検討していきたいと考えております。

また、金シャチ横丁構想に基づき、名古屋城及び周辺エリアの魅力向上とにぎわい創出のための整備等を推進しております。

名城公園北園については、城郭にふさわしい、城と一体化した本市を代表する総合公園となるよう計画的に再整備を進めています。

いただいたご意見につきましては、他部局や関係事業者と情報共有を図り、今後の参考とさせていただきます。

熱田・白鳥エリアの魅力向上について

【市民意見の概要】

○かつて市場があった七里の渡し付近を、カマボコや市場を再現することによって観光スポット化し、そこから熱田神宮までの市場内田町第1号線がかつての参道として整備しにぎわいを創出できれば、神宮への参拝や参拝後の名鉄等による他エリアへの移動が容易となり移動や目的地の選択肢が増加する。

○あつた nagAya は、規模が小さく若者や外国人観光客狙いのお店が多いように感じるため、全員が楽しめる場所として、「あつた nagAya に行くために名古屋に行きたい」とすべての人から思ってもらえるように、以下のことを提案する。

① あつた nagAya の周りの歴史的な商店街の復興

商店街を取り壊して、あつた nagAya の新エリアにするのが理想だが、「どえらい名古屋」の「起源」の観点から改装したほうがいいと考えた。外観から中に入っているお店をよみがえらせ名古屋を活気づける。

② 地元の料理を食べられる場所以外にも、名古屋が誇る伝統芸能を題材としたお店を作る

手羽先や味噌カツなど名物を食べられる店は多かったが、土産屋はどこでも買えそうなものしかなかった。もっと流行を取り入れた名古屋ならではのもの（手羽先の食品サンプルキーホルダーなど）を販売してもよいのではないかな。

③ 子供が楽しめるようなワークショップの実施

子供がいる家庭には、「らしい」イベントで、海外の方も楽しめるようなものだとっと良い。

④ 名古屋城の観光との連携

名古屋もりあげ隊などがある名古屋城の観光。そのような人たちを、あつた nagAya によんで盛り上げてもらう。

⑤ お祭りの開催

地域の学校の生徒などを、ボランティアとして呼んで中央の広場でお祭りを開催する。

【市の考え方】

本市では、かつて魚市場があった現在の大瀬子公園に、旧魚問屋として使われていた建物の保存部材を活用した「熱田魚問屋モニュメント」を設置し、歴史を紹介しています。周遊性向上につきましては、他エリアと連携したコンテンツ造成や複数エリアをつなぐモデルルートの提示などによって、引き続き努めてまいります。

いただいたご意見につきましては、関係者と情報共有を図り、今後の参考とさせていただきます。

桶狭間・大高エリアの魅力向上について
【市民意見の概要】 ○桶狭間の古戦場周辺は未利用地が目立つ。大高緑地にも近く、関ヶ原同様に全国的にも知名度が高いので古戦場として公園整備すればよいと思う。
【市の考え方】 当該エリアには、桶狭間の戦いにまつわる痕跡が残され、歴史的な魅力があることは認識しております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
名古屋港エリアの魅力向上について
【市民意見の概要】 ○イタリア村跡地を再開発し、例えばロケ地にもなる風光明媚な施設をつくるなど、MICE 参加者も利用できるような観光名所を創出してほしい。 ○レゴランド付近の高架橋などの人工物はレゴのイメージ塗装やラッピングを施せば、レゴランドの利用増大にもつながり、写真映えするスポットとして話題性が上がると思う。
【市の考え方】 イタリア村跡地のガーデンふ頭においては、名古屋港管理組合がガーデンふ頭再開発計画に基づく再開発の取り組みを進めていることから、本市としても、その促進を図ってまいります。 金城ふ頭では、レゴランドを核とした開発を着実に推進し、さらなるにぎわい創出を図る必要があると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

Ⅱ－３－Ｈ：地域一体となった観光の推進（３件）

交通事業者との連携について
【市民意見の概要】 ○全国レベルに訴求するプロモーションが可能な JR 東海に協力を仰ぎ、名古屋への誘客を一緒に取り組んでほしい。
【市の考え方】 交通機関との連携は、名古屋への誘客のみならず、広域交流の観点からも非常に重要であると認識しております。交通事業者をはじめとする関係者と協働のうえ、引き続き積極的なプロモーションに努めてまいります。
市民と観光推進の好循環について
【市民意見の概要】 ○行きたくない町 愛知・名古屋ではなく、名古屋市民は大人しい方が多く、魅力・仕掛け・導線の伝え方が苦手なだけであるため、何かのテーマを基軸にして魅力を発信し、観光客と市民とともに楽しく愉快地過ごすことができ、ひいては経済の発展にもつながれば良い。
【市の考え方】 本市の魅力が観光客等の来訪者にしっかりと届くよう、効果的なプロモーションに努めるとともに、本市が市民・来訪者ともに歓びあえるまちづくりを進めて

まいります。
未来への投資について
【市民意見の概要】 ○騒音問題に配慮して、公園で遊ぶことも、家で歌うことも、個人練習などもできず、埋もれてしまった才能がたくさんあると思う。未利用地を有効活用し、スポーツ・音楽・芸術・学習など、子供たちの未来につながるとともに、新たな交流も生まれるような施設を作ってほしい。そうして、地元愛が深いスターが生まれれば、凱旋ライブの開催などによって名古屋市は活性化し、ファンをはじめとする観光客からは、スター誕生の街と認識されることで市内の観光名所への来訪に繋がり、市民にとっても、名古屋市在住という言葉が光を放つと思う。
【市の考え方】 本市では、多様な人材育成事業に取り組んでいるほか、低廉な料金で利用できる練習施設等を多数保有していますので、ぜひご活用いただければと思います。

Ⅲ－１－Ⅰ：歴史に由来する文化、産業等の情報発信（４件）

観光コンテンツの造成について
【市民意見の概要】 ○サッカー人気の国からの外国人観光客向けに、オプションツアーの形式で試合を観戦できるよう、クラブや旅行会社と連携していくとよい。 ○夜間営業する飲食店や娯楽施設が増えると、名古屋に来る観光客のリピーター増加につながると思う。
【市の考え方】 本市は、トップスポーツチームが多く存在しており、その強みを活かしたスポーツツーリズムを促進してまいります。 また、夜の観光は観光客の滞在時間を拡大し、消費拡大やリピーターの増加にもつながるものと認識しております。 いただいたご意見を参考とさせていただき、引き続き努めてまいります。
歴史を活かしたPR
【市民意見の概要】 ○堀川を航路として整備すれば、かつて長野方面から木曽川や桑名などを經由して材木を運んだルートを観光資源として活用可能となり、仏壇作りや木工産業の隆盛、それに続く機械産業の発展に至る歴史を知り、トヨタ産業技術記念館などの観光スポットへの来訪にも繋がって行くと思う。 ○木曽川を航路として整備し、歴史性や東海三県との繋がりを利用して、サイクリングレース、トライアスロン、ウルトラマラソンなどに繋げれば三県も同時に盛り上がると思う。
【市の考え方】 堀川のような歴史的背景などをストーリー化して魅力をPRすることは非常に重要と考えております。こうした資源を基に本市の歴史やものづくり文化などの発信に努めてまいります。

また、広域的な取り組みは非常に重要なことと認識しております。いただいたご意見を参考に、引き続き努めてまいります。

Ⅲ－２－Ｊ：ターゲットの期待値を高める観光プロモーション（２件）

ターゲティング・アプローチについて

【市民意見の概要】

○日本は超富裕層向けのホテルや商品・サービスのスケールが小さく、当該層の観光客消費を促進出来ていない。ニーズなどの分析を、地元企業などと共有することで、超富裕層向けのホテルや商品・サービスの創出を活性化し、名古屋だけの強みとなり得ると思う。

○東山動植物園や名古屋港水族館など、名古屋には観光地があるがうまくアピールできていない。Youtube などにより、「質より量」で、国内にアピールすると良い。

【市の考え方】

客層ごとのニーズ把握と観光プログラムのマッチングは、観光消費を促すうえで重要なことであり、また、様々な媒体を利用した積極的な PR は、本市の魅力を幅広く発信する上で、大変重要なことと認識しております。

いただいたご意見も参考にしながら、積極的な PR を推進してまいります。

Ⅲ－３－Ｋ：名古屋へのインバウンド誘客（２件）

海外に向けたプロモーション・情報発信について

【市民意見の概要】

○国外への発信強化として、海外人気の高い Vtuber を活用してはどうか。

【市の考え方】

様々な媒体を利用した PR は大変重要と認識しております。いただいたご意見も参考にしながら、積極的な PR を推進してまいります。

外国人観光客のマナー対策について

【市民意見の概要】

○「施策Ⅱ－１－Ｆ：「“名古屋ならではの”コンテンツ造成」の取り組みは、外国人観光客も興味を引くもので良いと思うが、最近外国人のマナーが悪く、地域住民が困っているというニュースをよく目にするので、この地域でも同じようなことが起こらないかが心配である。外国人のマナー対策にはどのようなものがあるか教えてほしい。

【市の考え方】

外国人旅行者に日本のマナー・文化・風習への理解を促すために、観光庁等が作成している普及啓発動画等も活用しながら、効果的な意識啓発に努めてまいります。

IV-1-L：名古屋MICEブランドの構築・発信・定着（2件）

施設の活用及びコンテンツ開発について
【市民意見の概要】 ○過去2回（2015年・2023年）名古屋で開催された全国産業安全衛生大会では、2023年の開催の際、2015年のような分散会場ではなく、まとまった1箇所の会場で開催したため、移動がとても楽だった。他県で開催した場合は、会場の移動が必ず発生するため、1箇所にまとまって開催できる名古屋は、イベント規模に応じた提案力は高いと思う。 ○海外の学会や展示会では、家族同伴で参加し、参加者以外の付き添いの家族はオプションツアーに参加するケースもある。旅行会社と提携して、市内観光や周辺観光プラン（利用されやすいように利用時間別、距離別、移動手段別、季節イベント別で）を予め作り、市内の観光施設や、宿泊・飲食の割引も受けられるMICE参加者向けの割引ツアー等を提供してはどうか。
【市の考え方】 国際展示場・国際会議場という2大MICE施設を持つ本市ならではのポテンシャルを活かし、MICE誘致に取り組んでまいります。また、MICE開催の際のレセプションやエクスカーションにおいて、観光・歴史資源等を活用することで参加者の満足度向上に繋がります。

IV-2-M：地元産業・学術との連携強化（1件）

学術研究機関との連携について
【市民意見の概要】 ○名古屋工業大学や名古屋市立大学など、国際会議を開催している大学と提携してはどうか。
【市の考え方】 日本有数の大学の集積地であるという本市の強みを活かし、大学と連携を強化することで、さらなるMICE開催につなげてまいります。

IV-3-N：国際展示場・国際会議場を拠点としたエリアMICEの構築（1件）

愛知県との連携について
【市民意見の概要】 ○ステーションAiや愛知県新体育館（IGアリーナ）などとの連携や、愛知県国際展示場と名古屋市のMICE施設とで大規模な展示会を同時開催するなど、愛知県との連携をさらに強化し、誘客を促進してほしい。
【市の考え方】 愛知県や関係団体と連携し、地域を挙げてMICEの誘致を推進するために、愛知・名古屋MICE推進協議会を設立し、活動しております。今後、完成する市内施設も活用しながら、より一層の活動の強化に取り組んでまいります。

V-2-P：名古屋ならではのMICE誘致・開催支援の充実（1件）

地域特性の活用について
【市民意見の概要】 ○地方の特性が活かされた研修や、中部地方の人を対象とした研修の誘致・開催を検討してはどうか。
【市の考え方】 本市の持つ産業や学術の集積等の特性を活かしたMICE誘致を検討してまいります。

V-3-Q：新たな社会的価値観に対応したMICE開催（1件）

記載内容について
【市民意見の概要】 Op.56 下から2行目「ル技術の導入が進んだことから、」は、誤植ではないか。
【市の考え方】 正しくは、「また、コロナ禍でMICEにおいてもデジタル技術の導入が進んだことから、」の誤りであるため、修正いたします。ご指摘ありがとうございます。

3 成果指標について（2件）

MICEに関する成果指標について
【市民意見の概要】 ○成果指標は、M・I・C・E毎に分けて目標を立てた方がよいと思う。M・Iについては種別が異なるため、合わせた指標にしない方がよく、合わせた理由があるのであれば、その合理性など資料中に明記した方がよいと思う。
【市の考え方】 M（ミーティング）及びI（インセンティブ旅行）については、個々の企業活動の一環であり、共通する側面が多いことから、この2つの分野を合わせ記載させていただいております。いただいたご意見を踏まえ、「コラム：MICE開催の効果って？」にM・Iを合わせて表記している旨を追記いたします。
高い目標設定について
【市民意見の概要】 ○名古屋はオーバーツーリズムとは程遠い位置にあるため、むしろ、オーバーツーリズムになるぐらいの非常に高い目標を目指し、街に活気と賑わいが出て欲しいと思う。
【市の考え方】 オーバーツーリズムの発生は、地域住民の生活に深刻な悪影響を与えるほか、観光客の満足度の低下につながるものであることから、オーバーツーリズムの未然防止・抑止を念頭に、観光・MICE推進による街のにぎわい創出と活性化に努めてまいります。

4 推進体制について（1 件）

市外郭団体との連携について
【市民意見の概要】 ○（公財）名古屋観光コンベンションビューローなど、市の外郭団体職員の配置について、適材適所な配置をしていただきたい。
【市の考え方】 観光・MICE の推進にあたっては、（公財）名古屋観光コンベンションビューローをはじめとした外郭団体等とも連携しながら、進めてまいります。

5 その他（10 件）

カジノや I R について
【市民意見の概要】 ○本戦略案に、カジノや IR の誘致・推進が定められていないことに安堵した。河村前市長が、名古屋駅周辺や三重県のナガシマスパーランドにカジノを誘致したいと発言したことがあるので心配していた。ギャンブルを自治体が推奨するようなことはあってはならず、今後も、絶対にカジノや IR の誘致、推進はしないよう強く求める。
【市の考え方】 IR の整備については、国からの方針が示されておらず、本市としては今後の方針は持ち合わせていないことから、ご理解いただきますようお願いいたします。
市営地下鉄の安全対策について
【市民意見の概要】 ○過去に発生した市営地下鉄の運転士の居眠り運転は、許されざる行為であり、法令を遵守した安全対策を講じなければならない。
【市の考え方】 市営地下鉄鉄を安全に、安心してご利用いただけるよう、安全に関する教育・訓練を引き続き実施し、輸送の安全性の向上を図っていきます。
市営地下鉄のダイヤについて
【市民意見の概要】 ○東山線の名古屋－高畑 間は、乗客が大変少ないにもかかわらず、運行本数が多すぎなので、合理化として、本数を大阪のように半減させるべきだ。
【市の考え方】 地下鉄のダイヤについては、お客さまの利用動向の変化を踏まえ、利用状況に応じた運行本数の見直しを検討していきます。
その他
【市民意見の概要】 ○市内にはデザイン性で表彰された建物がなく、また市営地下鉄の車両は、全国の地下鉄事業者の中で唯一車両に関する表彰を受けたことがないのは、観光客が来ない要因となっている。市として反省すべき。 ○名古屋市が、電力株式会社の株式を保有して、交通・水道の収入として経営の収入としている。

- 運賃収入を増やすようなキャンペーンを行うべきではないか。
- 公立の小・中学校の通学における公共交通機関の利用の禁止等によって公共交通機関が利用されない。
- 名古屋市の地下鉄は、市内の小学生全員に無料パスを支給し、乗客人員を増やそうとする一方で、教育委員会が公共交通を利用しての通学禁止をしているので、観光客増加とはならないと思う。
- 交通局は私立中・高校生向きに、「まもレール」を導入すべきだ。
- 地下鉄事業者ごとに、営業キロ数や地下鉄1キロ当たりの運賃は異なる。運賃収入を増やすためにも、営業キロ数、1キロ当たりの乗客数などの比較が絶対必要だと思う。

【市の考え方】

ご意見として承ります。